

# 令和4年度 木材研究所試験研究 成果発表会・講演会

富山県農林総合技術センター木材研究所では、最新の試験研究成果の中から2課題を選び、下記のとおり発表会を開催します。

また、特別講演（富山県森林・木材研究所振興協議会との共催）も併せて開催します。

写真は、11月1日に開園した『ジブリパーク』（愛知県長久手市：愛・地球博記念公園）に設置された「稲穂門」（とうろもん：映画『千と千尋の神隠し』に関連する建造物）です。袖壁には木材研究所で開発した『面格子』が採用されています。

## 日時

令和4年11月25日（金）  
13:30～16:30（受付13:00～）

## 場所

富山県農林水産総合技術センター  
木材研究所管理棟2階研修室  
〒939-0311 射水市黒河新4940

## 内容

※発表の要旨は裏面をご覧ください。

時間	試験研究成果発表会
13:45～14:10	『曲げ鉄板を用いた格子壁の開発』 木材研究所 木質構造課 副主幹研究員 若島 嘉朗
14:15～14:40	『圧縮木材を活用した耐震面格子壁の開発』 木材研究所 木質製品課 課長 藤澤 泰士
時間	特別講演
14:50～16:00	『中高層木造建築に向けた高耐力耐力壁に関する研究』 椋山女学園大学 講師 清水 秀丸 先生

申込締切 令和4年11月18日（金）

※裏面の参加申込書をFAXして下さい。

お問合せ：富山県木材研究所 0766-56-2915

とやま 県産材



参加費無料

事前申込が必要です

現地開催とオンラインの  
併用開催

○現地開催（定員40名）

○オンライン（最大100名程度）

## 特別講演

椋山女学園大学

講師 清水秀丸 先生

### 〈講師略歴〉

- ・平成15年3月  
京都大学大学院建築学専攻  
博士課程後期課程修了
- ・平成25年4月～平成28年3月  
富山県農林水産総合技術センター  
木材研究所勤務
- ・平成28年4月  
椋山女学園大学生活科学部講師
- ・平成29年4月  
椋山女学園大学院  
生活科学研究科 講師  
博士（工学）  
日本木材加工技術協会第18回市川賞  
ほか受賞多数



## 主催

- ◆ 富山県
- ◆ 富山県森林・木材研究所  
振興協議会

# 令和4年度木材研究所試験研究成果発表会 参加申込書

**FAX : 0766-56-2816**

富山県農林水産総合技術センター 木材研究所 行き

所 属			
参加者	部署	氏名	オンラインの場合はE-mailアドレス
	部署	氏名	オンラインの場合はE-mailアドレス
	部署	氏名	オンラインの場合はE-mailアドレス
	部署	氏名	オンラインの場合はE-mailアドレス
連絡先	所在地		
電 話	(            )            -	<b>FAX</b>	(            )            -

※1 オンラインでの参加を希望される方は、E-mailアドレスをご記入願います。

※2 ご記入いただいた情報は、当発表会実施に係る業務以外での使用いたしません。

## 成果発表会及び特別講演の概要

成 果 発 表 ①	曲げ鉄板を用いた格子壁の開発
発 表 者	木材研究所 木質構造課 副主幹研究員 若島 嘉朗
発 表 要 旨	相欠き仕口により縦横に組まれた面格子壁は、その高い意匠性により住宅の耐力壁や社寺・文化財等の耐震補強に利用されています。しかし、木材の乾燥収縮によって相欠き仕口に隙間が生じることから、高い耐力の割には初期剛性が低く、壁倍率も初期剛性によって決まるため倍率は1以下と低い値に止まっています。そこで、格子壁の格子窓を塞がない形式で曲げ鉄板により補強をすることで、意匠性を保ちつつ高い初期剛性と耐力を有する格子型耐力壁を開発しました。本発表では、開発した格子壁の壁せん断試験の結果について報告します。
成 果 発 表 ②	圧縮木材を活用した耐震面格子壁の開発
発 表 者	木材研究所 木質製品課 課長 藤澤 泰士
発 表 要 旨	面格子壁の経年変化により生じる隙間問題を解決するため、格子壁の隙間に「圧縮木材」を挿入した耐震面格子壁を開発しました。挿入した圧縮木材は常に膨張しようとするため、格子間に隙間が生じることはありません。今回は、スギおよびホオノキの2樹種について面格子の交差部に挿入した面格子壁を作製して、その耐力を評価した（事故的水掛かり）結果について、また、平29年にヒノキ圧縮材を用いた耐震面格子壁の実施工（護国神社大拝殿耐震改修工事）と、その後経時変化について報告します。
特 別 講 演	中高層木造建築に向けた高耐力耐力壁に関する研究
講 師	椋山女学園大学 講師 清水 秀丸 先生
講 演 要 旨	我が国でも、木質材料を用いた非住宅である中高層木造建築物の建設が行われるようになってきました。木質構造による中高層建築物の建設には、一般的な木造住宅で用いられる壁倍率5.0以下の耐力壁ではなく、高耐力耐力壁が必要とされます。 本講演では、面格子に鋼板を挿入した耐力壁や、CLT（Cross Laminated timber：直交集成板）を用いて開発した高耐力耐力壁などについてご紹介します。